



南魚沼市民病院

令和3年1月

認知症疾患医療センターだより

南魚沼市民病院認知症疾患医療センター

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 2643 番地 1

電話: 025-788-1222 (代表)

電話: 025-772-2604 (直通)

FAX: 025-788-1231

新年の
ごあいさつ

コロナ感染症の中で



認知症疾患医療センター長 宮永和夫

明けましておめでとうございます。

コロナウイルスの感染拡大によって、自己防衛のためか、病院への受診控えが起こり、病気の早期発見や早期対応の遅れが指摘されています。さらに、認知症者や高齢者においては、介護支援の縮小や停止も加わり、孤立や放置によって、認知症の進行悪化が促進されているように感じられます。認知症者や高齢者には、「寄り添い」のある、安心できる生活環境が必要です。家庭でも施設でも、しっかりと三密を避け、コロナに対処して頂きたいと思います。

また、持病を持つと死亡率が高くなると言われますが、認知症も持病の一つです。大きな問題は、認知症本人や介護者が感染した場合です。①認知症本人が自宅で感染した場合と、②介護施設で感染した場合とは状況が異なりますし、介護者が感染した場合に、③認知症の本人をどのように対処すべきか、の統一された指針はありません。家族の希望や本人の精神と身体の状態も含めてケースバイケースとしか言いようがないかもしれません。ただ、必要な時、相談先に当センターも選んで頂きたいと思うのです。コロナについては、医療か介護かの二者選択でなく、総合的に対処する必要があります。専門機関としてアドバイスができればと考えております。

<超高齢期の認知症のトピック>

最近、認知症の診断を受けに来られる人で、85歳を超えた高齢者の「物忘れ」受診が見られるようになりました。そのためか、認知症の中に、アルツハイマー型認知症と診断されない割合が増えた気がします。実は、聞き慣れないかもしれませんが、長谷川和夫先生がなられたという「嗜銀顆粒性認知症」や、記憶障害の進行が遅い「神経原線維変化型老年期認知症」などが高齢者の認知症には多く認められるのです。これらは、アルツハイマー型認知症の原因がアミロイドであるのに対して、タウという蛋白が原因です。さらに、最近では、高齢者の死亡後の脳を検査すると、レビー小体型認知症(DLB)と診断できる人が3割も認められたとの報告がでました。この原因はシヌクレインという蛋白で、これもアミロイドと異なります。そのため、高齢者になってから認知症になった人は、アルツハイマー型認知症を対象とした現在の治療薬では効果が少なく、新たな治療法が必要になると思います(ただ、残念なことに有力な薬剤はまだ出ていません)。今年もよろしくお願いいたします。

報告

南魚沼市民病院 「認知症ケアセミナー」

毎年、市民を対象に行ってきた市民講演会を今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、やむなくお休みしました。専門職対象の研修会も延期しています。

来年度は開催方法を検討し、一般の方や専門職が安全に認知症を学べる機会を作りたいと考えています。今回は市民病院の職員を対象に実施している1回30分の認知症ケアセミナーをご紹介します。

令和2年度のセミナー（全6回）

認知症の基本的理解から現場での対応法など、認知症ケアを実践していく上で必要な知識と技術・思考の展開・認知症の人とのコミュニケーション能力などにスポットを置いて、認知症の「人」を理解することで専門職としてのかかわり方を学びましょう。

	日時	テーマ	講師
①	9月10日(木)	認知症ともの忘れは何がちがうの？	宮永先生
②	10月13日(火)	認知症につかう薬のはなし	米村先生
③	11月10日(火)	認知症にかかわる制度のはなし	保健師 佐藤
④	12月8日(火)	認知症の検査のはなし	公認心理師 長沼
⑤	令和3年1月12日(火)	困った時にどうかかわったらいいの？	認知症看護認定看護師 岡村
⑥	令和3年2月9日(火)	介護される方のこころのケア	公認心理師 西脇



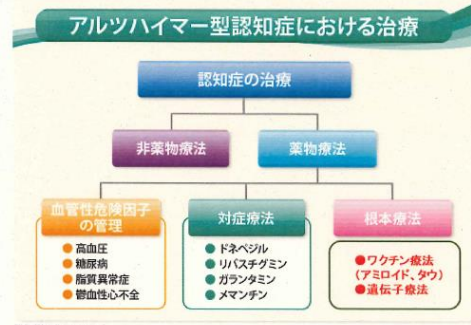
第1回 テーマ「認知症ともの忘れはどう違うの？」

宮永医師による講義でした。参加者は50人。看護職とその他の医療職、事務職の参加もありました。アンケートでは「認知症と物忘れの違いが分かった」「アルツハイマー型認知症の疾患の理解が深められた」「進行予防に日々の関わり方の中で会話や離床を通し刺激のある生活が送れるような関わりができたらいい」などの感想が聞かれ、今後の業務に活かせる内容となりました。

(以下は資料の一部)

物忘れの比較

認知症による物忘れ	加齢による生理的物忘れ
体験全体(5W1H)を忘れる	体験の一部を忘れる
ヒントを与られても思い出せない	ヒントを与えられると思い出せる
新しいことを記憶できない	記憶できるが、記憶力は低下している
物忘れに対して 自覚がない	物忘れに対して 自覚がある
日常生活に支障がある	日常生活に支障はない



情報：認知症診療ガイドライン


第2回 テーマ「認知症に使う薬の話」

米村医師による精神科で用いる薬の話でした。参加者からは「精神科で使用される薬の作用、副作用、観察ポイントが分かった」「周辺症状について知ることができた」「薬が理解でき、患者の病状や行動の理解、副作用へのケアや環境調整に活かせる」などの感想がありました。

(以下は資料の一部)

そもそも「薬」ってなんですか


例えば 扁桃炎



- ・病気の原因に作用して病気を治す
例 <抗菌剤>
- ・病気の原因には作用しないが、病気により起こっているつらい症状を治す
例<咳止め、解熱剤など>
- ・特別なもの：ワクチン(インフルエンザ、肺炎球菌など)、診断するために必要な薬剤

認知症の治療でお薬が処方される時

- 1 認知症そのものを治療する
 - ★原因が分かって直接治療できる認知症
ビタミン欠乏症による認知症、内分泌異常による認知症、など
(薬ではないが、脳外科の手術で治療できる認知症：正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫など)
 - ★原因は推測されているが、その原因を取り除くことができる認知症なし！！(認知症の原因の多くが、変性疾患。)
 - アルツハイマー型認知症では、根本治療薬を開発中。
現在あるのは 「抗認知症薬」
- 2 認知症が原因になって起こった「困りごとと症状」の治療
環境調整(物理的環境、对人的環境など)
↓
薬物療法
うつ：抗うつ薬
興奮：漢方薬、抗精神病薬、抗てんかん薬
不安：漢方薬、抗不安薬、抗うつ薬
不眠：睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬




第3回 テーマ「認知症にかかわる制度の話」

多くの制度の中で認知症の人の生活を支える経済的な制度について紹介しました。アンケートでは「普段学んでいない分野だが理解が深まった」「認知症を抱える人を社会で支える制度について知ることができた」などの感想が聞かれました。

経済的支援のあり方

② 所得保障



増 ↓ 減

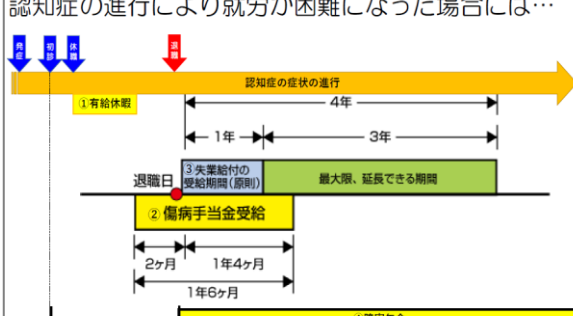
本日、社会制度の中でも所得保障機能のある社会保険制度について

- ▶障害年金
- ▶傷病手当金
- ▶基本手当(失業給付)

① 医療費助成
③ 生活支援

を中心に

認知症の進行により就労が困難になった場合には…



1 有給休暇 (4年)

2 傷病手当金受給 (1年6ヶ月)

3 失業給付の受給期間(原則) (1年4ヶ月)

4 障害年金 (1年6ヶ月)

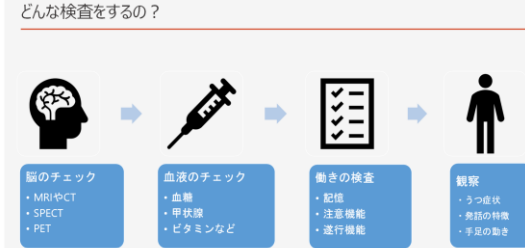
退職日

最大限、延長できる期間

第4回 テーマ「認知症の検査の話」

臨床心理士による認知症の検査や診断の話でした。認知症だと思い込まず物忘れの他の疾患との鑑別も大切であること、検査だけでなくその人の顔貌、動き、発言内容など日頃の観察ポイントや注意点を学びました。

どんな検査をするの？

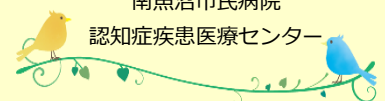


- 脳のチェック**
 - ・MRIやCT
 - ・SPECT
 - ・PET
- 血液のチェック**
 - ・血糖
 - ・甲状腺
 - ・ビタミンなど
- 動きの検査**
 - ・配位
 - ・注意機能
 - ・遂行機能
- 観察**
 - ・うつ症状
 - ・発話の特徴
 - ・手足の動き

実際の働きから認知症を推定する方法

脳の働きについても様々な変化があります。それを脳機能検査によって調べます。認知症とは脳の働きが正常に保たれていない状態です。正しい働きが保たれていない状態です。

認知機能	
複雑性注意	持続性注意、分配性注意、選択性注意、処理速度
実行機能	計画性、意思決定、ワーキングメモリー、フィードバック/エラーの訂正応答、習慣無視/抑制、心的柔軟性
学習と記憶	即時記憶、近時記憶(自由再生、手がかり再生、再認記憶を含む)、長期記憶(意味記憶、自伝的記憶)、潜在学習
言語	表出性言語(呼称、喚語、流暢性、文法、および構文を含む)と受容性言語
知覚-運動	視知覚、視覚構成、知覚-運動、実行、認知を含む
社会的認知	情動認知と心の理論



センターに新しいメンバーが加わりました！

🗄️ 干支 寅年



🗄️ 趣味

出たところ勝負の放浪旅

酒蔵・神社巡り

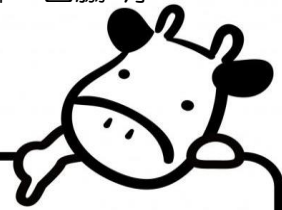


公認心理師 西脇 淳



🗄️ 最近うれしかったこと

最近の大ヒットは転職です。就職の願掛けを思い立ちましたが、根性がないため茶断ち・塩断ちの物断ちは断念。それ以外の願掛け！と言えば神頼み。近くの金峯神社で夏越のお払いを受け就職御守を授かり、以前大事の前の懸賞応募で運を使い果たした“しくじり経験”を活かし試験前の懸賞応募はやめ、おとなしく過ごしました。試験中は上越線を走る列車にも勇気づけられた歳のいった新入職員です。よろしくお願いします。



今年もよろしくお願ひいたします



認知症に関するご相談・お問い合わせ ▶ 南魚沼市民病院 認知症疾患医療センター

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 2643 番地 1

電話 (025) 788-1222 (代表) FAX (025) 788-1231
(025) 772-2604 (直通)

●まずお電話でお問い合わせください。

月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00 (病院休診日を除く)